



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,716	3.4	509	45.5	522	41.0	346	44.7
29年3月期第2四半期	8,433	1.9	350	30.1	370	27.6	239	25.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 342百万円 (36.0%) 29年3月期第2四半期 251百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	99.62	
29年3月期第2四半期	68.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	10,366	7,291	70.3	2,095.58
29年3月期	9,727	6,983	71.8	2,007.21

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 7,291百万円 29年3月期 6,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,695	3.8	751	2.6	778	3.1	522	1.8	150.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,216,000 株	29年3月期	4,216,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	736,583 株	29年3月期	736,583 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	3,479,417 株	29年3月期2Q	3,479,450 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東札
 TEL 011-613-3210

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,716	3.4	509	45.5	522	41.0	346	44.7
29年3月期第2四半期	8,433	△1.9	350	△30.1	370	△27.6	239	△25.2

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 342百万円 (36.0%) 29年3月期第2四半期 251百万円 (△21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	99.62	—
29年3月期第2四半期	68.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	10,366	7,291	70.3	2,095.58
29年3月期	9,727	6,983	71.8	2,007.21

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 7,291百万円 29年3月期 6,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,695	3.8	751	△2.6	778	△3.1	522	1.8	150.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	4,216,000 株	29年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	736,583 株	29年3月期	736,583 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	3,479,417 株	29年3月期2Q	3,479,450 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移し、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られます。

一方で、米国の政策動向に伴う影響や、新興国経済の成長鈍化の懸念、並びに米国と北朝鮮をめぐる地政学的リスク等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、民間の設備投資は減少しているものの、住宅建設の増加や、新幹線の開業等による来道観光者数の増加等により、緩やかな回復基調が続いております。

医療業界におきましては、医療費抑制政策が強化される中、社会的要請に対応するため、厳しい環境変化への対応が求められており、引き続き各企業は、より一層の経営の効率化及び合理化が求められております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得や新規調剤薬局店舗の開局、サービス品質の向上に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,716百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益509百万円（同45.5%増）、経常利益522百万円（同41.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益346百万円（同44.7%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、前期及び当期に獲得した新規顧客との取引が順調に推移し、人材、設備への投資計画を一部繰延べしたことから、売上高2,879百万円（前年同期比3.7%増）、セグメント利益182百万円（同87.1%増）と前年同期を大きく上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、調剤薬局を新規に1店舗開局し、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したに加え、設備投資計画の実施を一部繰延べしたことから売上高5,416百万円（同4.7%増）、セグメント利益496百万円（同14.9%増）と前年同期を上回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから売上高380百万円（同14.6%減）、セグメント損失3百万円（前年同期はセグメント利益1百万円）になりました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高39百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益27百万円（同0.8%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,248百万円となり、前連結会計年度末に比べ636百万円増加（前連結会計年度末比9.6%増）いたしました。これは主に未収還付消費税の減少により、その他の流動資産が39百万円減少しましたが、現金及び預金が639百万円、受取手形及び売掛金が47百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加（同0.1%増）いたしました。これは主に工具、器具及び備品（純額）が27百万円減少しましたが、建物及び構築物（純額）が34百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円増加（同6.6%増）いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ320百万円増加（同12.9%増）いたしました。これは主に賞与引当金が117百万円、未払法人税等が98百万円、支払手形及び買掛金が34百万円及びその他の流動負債が68百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は266百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加（同4.2%増）いたしました。これは主に長期未払金が7百万円減少しましたが、リース債務が13百万円、役員退職慰労引当金が3百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ331百万円増加（同12.1%増）いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ307百万円増加（同4.4%増）いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益346百万円及び剰余金の配当34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は70.3%となり、前連結会計年度末比1.5ポイント下回りました。
また、1株当たり純資産は2,095円58銭となり、前連結会計年度末比88円37銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,134,643	3,774,498
受取手形及び売掛金	2,724,915	2,772,506
商品及び製品	523,443	517,393
仕掛品	14,493	7,974
原材料及び貯蔵品	54,920	56,186
繰延税金資産	74,785	74,815
その他	117,879	78,568
貸倒引当金	△33,772	△33,637
流動資産合計	6,611,308	7,248,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,050,819	2,060,563
減価償却累計額	△1,292,248	△1,267,754
建物及び構築物(純額)	758,570	792,808
機械装置及び運搬具	39,193	36,673
減価償却累計額	△33,068	△32,144
機械装置及び運搬具(純額)	6,125	4,528
工具、器具及び備品	2,708,758	2,736,679
減価償却累計額	△2,221,387	△2,276,965
工具、器具及び備品(純額)	487,371	459,713
土地	1,061,696	1,052,372
リース資産	66,459	82,122
減価償却累計額	△36,943	△39,704
リース資産(純額)	29,516	42,418
建設仮勘定	500	—
有形固定資産合計	2,343,780	2,351,841
無形固定資産		
その他	97,746	95,631
無形固定資産合計	97,746	95,631
投資その他の資産		
投資有価証券	137,194	133,448
長期貸付金	3,497	1,110
長期前払費用	29,412	33,646
差入保証金	259,213	252,045
繰延税金資産	130,933	130,535
その他	133,547	137,998
貸倒引当金	△18,858	△17,696
投資その他の資産合計	674,940	671,088
固定資産合計	3,116,467	3,118,561
資産合計	9,727,775	10,366,868

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,040,961	2,075,137
短期借入金	13,316	4,981
リース債務	12,217	12,913
未払法人税等	102,982	201,860
賞与引当金	115,357	232,432
未払金	73,758	80,276
資産除去債務	—	2,900
その他	129,859	198,728
流動負債合計	2,488,453	2,809,229
固定負債		
リース債務	20,708	34,513
役員退職慰労引当金	60,674	64,366
退職給付に係る負債	18,515	18,933
長期未払金	148,570	141,505
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,930
固定負債合計	255,400	266,249
負債合計	2,743,853	3,075,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	5,459,411	5,771,219
自己株式	△504,653	△504,653
株主資本合計	6,953,377	7,265,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,543	26,203
その他の包括利益累計額合計	30,543	26,203
純資産合計	6,983,921	7,291,389
負債純資産合計	9,727,775	10,366,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,433,387	8,716,740
売上原価	5,900,627	6,009,443
売上総利益	2,532,759	2,707,297
販売費及び一般管理費	2,182,430	2,197,493
営業利益	350,329	509,803
営業外収益		
受取利息	495	380
受取配当金	4,205	1,818
受取賃貸料	24,313	22,746
その他	18,882	11,824
営業外収益合計	47,896	36,769
営業外費用		
支払利息	752	676
賃貸収入原価	24,635	22,596
その他	2,279	686
営業外費用合計	27,667	23,959
経常利益	370,558	522,613
特別利益		
固定資産売却益	23	1,233
特別利益合計	23	1,233
特別損失		
固定資産売却損	22	—
固定資産除却損	2,805	479
減損損失	—	1,737
特別損失合計	2,827	2,216
税金等調整前四半期純利益	367,753	521,630
法人税等	128,227	175,027
四半期純利益	239,526	346,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	239,526	346,602

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	239,526	346,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,132	△4,340
その他の包括利益合計	12,132	△4,340
四半期包括利益	251,659	342,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,659	342,262
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,775,814	5,171,737	445,909	8,393,461	39,926	8,433,387
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	354,055	354,055	684	354,739
計	2,775,814	5,171,737	799,965	8,747,517	40,610	8,788,127
セグメント利益	97,541	432,551	1,238	531,331	27,906	559,237

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	531,331
「その他」の区分の利益	27,906
セグメント間取引消去	3,722
全社費用(注)	△212,630
四半期連結損益計算書の営業利益	350,329

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,879,689	5,416,338	380,989	8,677,016	39,723	8,716,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	322,692	322,692	645	323,337
計	2,879,689	5,416,338	703,682	8,999,709	40,368	9,040,078
セグメント利益又は損失 (△)	182,463	496,859	△3,768	675,554	27,682	703,236

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,554
「その他」の区分の利益	27,682
セグメント間取引消去	5,670
全社費用(注)	△199,103
四半期連結損益計算書の営業利益	509,803

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、取締役会で決議された来期移転店舗の移設不能資産を平成30年3月末の見積帳簿価額にて算定し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,737千円であります。